

救命救急センターを受診された患者さんへ

臨床研究の実施に関するお知らせ

現在救命救急センターと臨床検査技術部では、下記の臨床研究を実施しております。
この研究では、患者さんの日常診療で得られた試料・情報を利用させていただきます。
ご自身の試料・情報がこの研究に利用されることについて、異議がある場合は、試料・情報の利用を停止することができます。ただし、すでに研究結果の解析が終了し、公表されている場合などに、あなたの情報のみを取り除くことができない可能性もあります。研究の計画や内容などについて詳しくお知りになりたい方、ご自身の試料・情報がこの研究で利用されることについて異議のある方、その他ご質問がある方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

●研究課題名

大量輸血プロトコル（MTP）施行患者における中長期予後の規定因子の検討

●研究の目的

外傷・非外傷を含め救命救急センターでMTP輸血を施行した患者さんを対象に、通常の診療で得られた試料・情報を収集・解析することにより、中長期の予後を規定する因子を明らかにし、より良い救命率の高い治療法を確立することを目的としています。

●対象となる患者さん

2011年1月1日から2027年12月31日の間、当科を受診され、大量輸血プロトコル（MTP）輸血（異型適合輸血O型RBC、AB型FFP）を受けられた患者さん。

●研究予定期間：2026年1月1日※から2029年12月31日

※ただし、病院長の許可日以降に開始します

●研究機関の長：神戸市立医療センター中央市民病院 病院長 貝原聡

●使用させていただく試料・情報

- ・基本情報：年齢、性別、基礎疾患、出血原因
- ・来院時指標：到着時刻、心拍数、血圧、経皮的酸素飽和度
- ・血液検査データ：アルブミン、乳酸デヒドロゲナーゼ、トロポニン、ヘモグロビン、
フィブリノゲン、血液ガス分析によるイオン化カルシウム（iCa）、乳酸値
- ・輸血・治療情報：血液型、不規則抗体検査、輸血開始時刻、総輸血単位数、輸血比率
- ・転帰：24時間死亡、30日死亡

●個人情報の取り扱いと倫理的事項

研究に利用する試料・情報は、患者さんを直接特定できる情報（お名前やカルテ番号など）を削除し加工しますので、当院のスタッフ以外が当院の患者さんを特定することはできません。

この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その場合でも上記のとおり加工していますので、患者さんのプライバシーは守られます。

なお、この研究は、国の定めた指針に従い、当院の研究倫理審査委員会の審査・承認を得て、病院長の許可のもと実施しています。

●研究機関（情報管理責任者）および問い合わせ先

神戸市立医療センター中央市民病院 臨床検査技術部

研究責任者名：吉田 昌弘

住所：神戸市中央区港島南町2丁目1-1

電話：078-302-4321

2026年3月1日作成 第1.0版